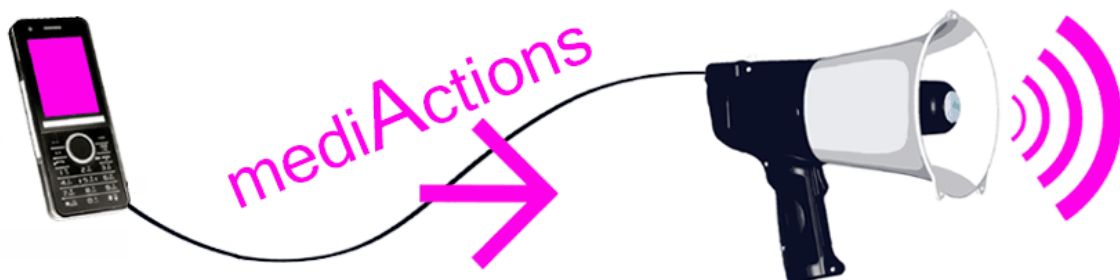


Dislocate 10 「mediActions」開催のお知らせ



報道関係者様各位

このたび、活動5周年を迎えるディスロケイトは、今年オープンした3331 Arts Chiyoda にて、アーティスト・イン・レジデンス・プログラム「mediActions」開催いたします。

ディスロケイトは、アートとテクノロジー、地域性の在り方について考察することを目的としたプロジェクトです。作品の展示やシンポジウム、ワークショップの開催を通じて、空間や場所に対する意識やテクノロジーの進歩が私達の意識に与える影響について問いかけを行います。アーティスト間の交流だけでなく、地域に住民、地域の社会と積極的な交流を行うことが、活動の重要な要素となっています。

今回のディスロケイト「mediActions」(メディア-アクション)では、3人のアジアの若い女性アーティストを1ヶ月のアーティスト・イン・レジデンス・プログラムに招待します。招待されたアーティストはJasmeen Patheja(インド)、Jie Sheng(中国)、Prilla Tania(インドネシア)です。メディアを通してどのような社会参加が可能か、またどのような変化をおこすことができるのか、アートという媒介を通し考察していきます。若いアーティストに機会を提供するとともに、アジアのさまざまな国の女性の立場に対する意識を高めていきます。

世界的にみても特殊な文化環境である秋葉原と、新たな東京のアートの拠点である3331 Arts Chiyoda での開催は、Dislocateの活動に相応しい機会です。ぜひともご高覧とご高配のほど、よろしくお願いいたします。

会期：2010年 9月26日(日)～ 11月13日(土)
会場：3331 Arts Chiyoda 内マルチスペース、ギャラリーB
主催：Crossed Coordinates
共催：3331 Arts Chiyoda

参加作家：Jasmeen Patheja(インド)、Jie Sheng(中国)、Prilla Tania(インドネシア)、山岡佐紀子、その他

アーティスト：

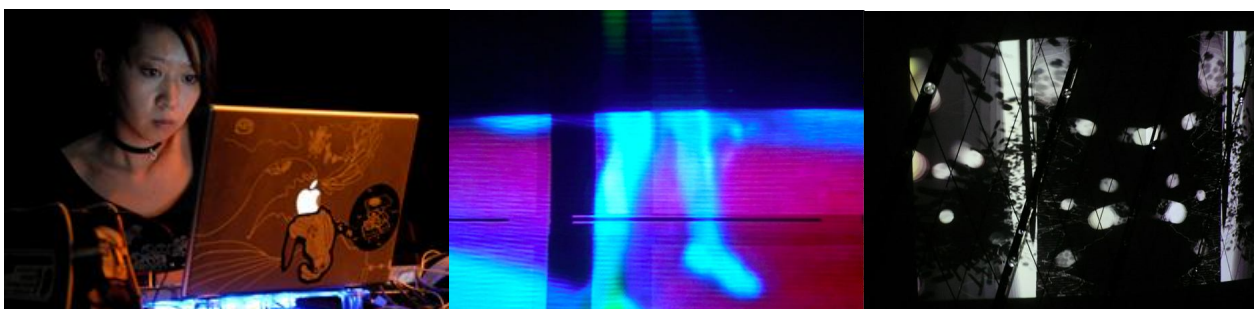
Jasmeen Patheja 1979年生まれ



「Blank Noise」という路上でのセクハラと戦う団体の設立者。路上セクハラ問題の開かれた議論を促すためにこの団体を設立。「女性は路上でのセクハラを直視し、問題を提起するのがこの団体の役目。インドでは家族や仲間がこの問題の会話を避ける傾向にある。大多数の女性はそのことに疑問も感じない。」とPathejaさんは語ります。アートとアクティビズムとの境界を越え、インターネットや他のメディアテクノロジーを通して創造的に抗議行動を企画しています。

2005年にオーストリアの有名なメディアアートフェスティバル、ARS Electronica で展示。2008年にイギリスのManchester CornerhouseのAsia Triennaleに参加し、2007年と2008年にドイツのAkademie Schloss Solitudeのアーティスト・イン・レジデンス・プログラムに参加。2003年にSrishiti School of Art and DesignのMedia Art Diploma を卒業。

Jie Sheng 1975年生まれ

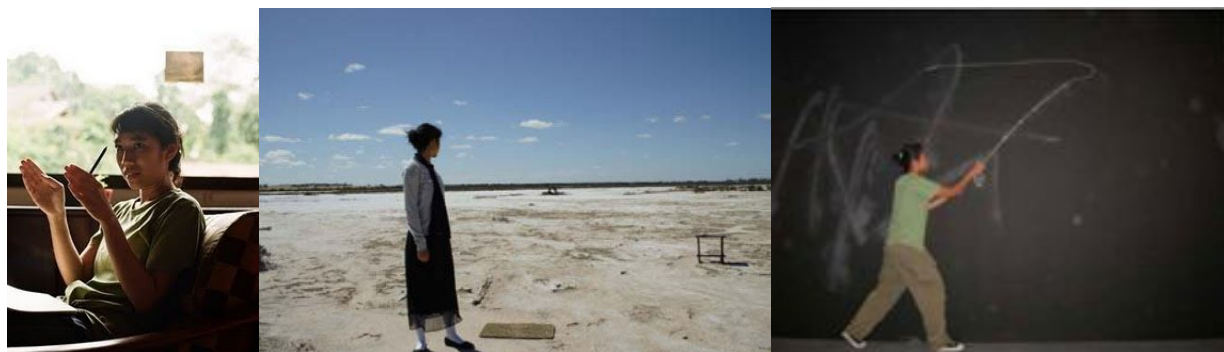


2003年にイギリスのエジンバーグ・アート・カレッジで映画・テレビ制作を学ぶ。

2005年フランスのEcole supérieure des arts décoratifs de Strasbourgでビデオアートを研究。ZKMというドイツの名高いメディアインスティテュートやイギリスのISIS Artや香港のメディアアートフェスティバルmicrowave festivalで作品を発表している。

Shengさんはメディアアーティストとしてビデオ・サウンド・パフォーマンス・インスタレーション・VJの作品を作っています。そうしたメディアを通じて観客を現実と幻想との空間へと導き、不安を意識させようとしています。

Prilla Tania 1979年生まれ



バンドン工科大学美術学部彫刻科出身 2001年卒業。

2004年に三人でVideoBabesという女性アーティストに向けビデオアート団体を設立。国内外の団体と協力し、ビデオ上映会・展覧会・シンポジウム・ワークショップなど通じてインドネシアのビデオアートの発展を奨励している。

2008年のTaipei Artist Villageと2007年のInternational Art Space Kellerberrin Australiaのアーティスト・イン・レジデンス・プログラムに参加。展覧会の中にはCentraal Museum UtrechtのBeyond The Dutch展、Indonesian National GalleryのMANIFESTO展とインドネシア、ネーデルラント、中国、シンガポールで発表されたThe Past, The Forgottenという巡業展が含まれる。

作品においてフェミニストの問題についてコメントしながら、特に人間の感情と人間の意識に焦点を合わせています。

山岡佐紀子



武蔵野美術大学油絵学科卒業後、博物館に勤務しながら、絵画の作品を発表。1991年頃パフォーマンスアートに興味を持ち始める。最初の頃は、主に都内の墓地や水門などで、あまり観客を呼ばずに行なう。1992年にシンガポールの「The Space」という展覧会で、初めてソロでパフォーマンス。シンガポール川を泳いでわたるのをショーにする。1997年からはヨーロッパ・アジア・北米のパフォーマンスイベントに参加するようになる。2004年にはドイツ滞在。現在、国内で、自身の作品に適した場所を探している。ショーケースとしての作品や、ゲリラ的なパフォーマンスがある。

最近の作品 『Missing in Yokohama』(横浜で失踪) 妄想散歩、映像、テキスト・写真展示、インスタレーション 『Wind from Sky』(空からの風) ショーケースパフォーマンス、デュレーションパフォーマンス 『We are Elegant』(わたしたちはエレガントである) 参加型ローカルアクションパフォーマンス 『Over the Hill』(丘を越えて) 参加型ストリートゲリラパフォーマンス

ワークショップ



4人のアーティストが協力し、レジデンス期間中毎週ワークショップを行ないます。地域の住民や、子供たちとテクノロジーを使った創造的な活動行う予定です。

誰もが発信者となる現代のメディアテクノロジーを、私たちはどのようにを使えば、社会的なメッセージを伝えることができるでしょうか。どのように地元の問題などに取り組むことができるでしょうか。こうした疑問に基づき、住民活動のグループとアーティストと一緒に社会問題・環境問題について話し合い、考えることで、新しい協力関係や、意識が生まれることを期待します。

アーティストトーク・ディスカッション



アーティストは自分の作品・経験を紹介すると同時に地域に対するリアクションを形にしてゆきます。メディアとアートとアクティビズムとの関係に焦点をあて、インド・中国・インドネシアの状況を紹介しながら今までの日本の体験についても意見します。アクティビズム・ジェンダー・オルタナティブメディア・アジアメディアアート、それぞれの問題点についてレジデンスのアーティストと、その分野の専門家などの特別ゲストを招き、議論していきます。

シンポジウム



このシンポジウムでは、ディスロケイトの活動概念でもある、アートとテクノロジー、ローカリティ（地域性）について話し合う場を設けたいと考えています。アジアのアーティストと日本のアーティスト・キュレーター・運動家などが集まり、深い交流を行います。シンポジウムの中心となるテーマは「メデ

「メディアアクション(mediAction)」です。中国・インド・インドネシア・日本のテクノロジー社会を留意し、文化・政治・経済・歴史の点を比較し、メディアとアクティビズムとの関係を議論してゆきます。実際に街の中へ出てプレゼンテーションを行なうなど、地域の特性を活かした発表も期待します。

展覧会・パフォーマンス



セミナー・ワークショップの結果を展覧会で発表する予定です。mediActionsは、パブリックスペースの在り方を見直していきたいと考えています。そのため、アート作品を発表する時は、できる限り公共空間を利用します。公園・商店街・路上で映像、パフォーマンス、参加型イベントという一時的な作品を発表する予定です。この活動のドキュメンテーションを展覧会として発表する予定ですが、このイベントにおいて最も重要なのは、特定の展示空間を持たないタイプの作品によって周囲のパブリックスペースへ積極的に働きかけ、そこに観客も参加しながらそうした空間の新しい一面を体験してゆくということです。また、アーティストの過去作品を展示する機会も設ける予定です。

2010年のスケジュール



ウェルカムパーティー 9月26日(日) 18時~21時

ワークショップ 土曜日10月2日・9日・16日・23日・30日 14時~18時

上映会 : 市民メディア特集10月3日・アジアビデオセレクション10月10日・LGBTスペシャル 10月17日 18時~

ライブ : 10月16日19時-21時「fused femmes」女性のエレクトロニック実験的アーティストによるライブ
10月23日19時-21時「politics of sound」社会へのメッセージを持っているサウンドパフォーマンス

パフォーマンス: 10月9日 18時~20時

ディスカッション 日曜日10月3日・10日・17日・24日 14時~17時

シンポジウム 10月11日(祝・月)(予定) 10時~18時

展覧会 10月30日(木)~11月13日(土) 12時~20時

参加型イベント 10月31日

フェーウェルパーティー 11月5日(金) 18時~21時

Crossed Coordinates

2005年に日本とイギリスを拠点に開設され、国際交流・地域交流を中心として、アートイベント・フェスティバル・ワークショップを企画し、美術的文化交流を育ててゆくこと目的とした団体。

ディスロケイト / Dislocate

URL: <http://www.dis-locate.net/mediactions/>

・過去の開催イベント□

2006年



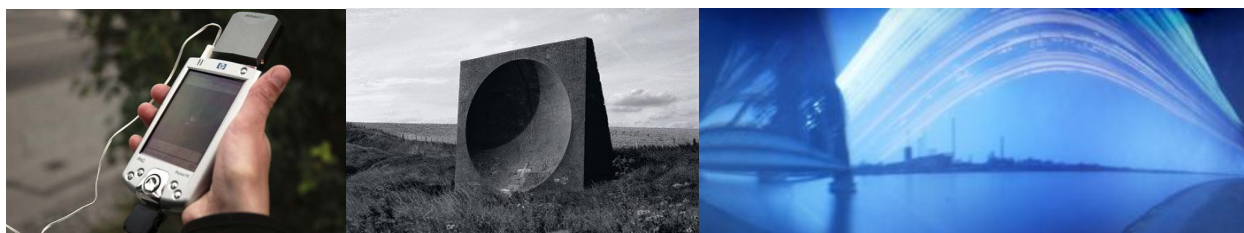
場所：銀座芸術研究所・小岩アネックススペース

日程：2006年7月28日～8月18日

参加アーティスト、団体など：

高橋圭子, Allen Coombs, Collectif_fact, Kim Collmer, Anthony Kelly and David Stalling, Nick Cope and Tim Howle, Takayo Sugiyama, Patrick Jameson, Andrew Wood, Jean Gabriel Periot, Akiko and Masako Takada, Steffen Blum, Marina Chernikova, 毛利悠子, 丹羽良徳, Jeanie Finlay, Christophe Charles and Scopac, Kevin Jones, David Thomas, Ben Woodeson, Lori Amor, Catherine Clover, Sara Heitlinger, Dune & Devil

2007年



場所：銀座芸術研究所・小岩アネックススペース・ZAIM

日程：2007年7月24日～8月5日

参加アーティスト、団体など：

Active Ingredient, Christian Nold, Dan Belasco Rogers, D-Fuse, Taeyoon Choi, Erik Pauhrizi, So-Hyeon Park, 毛利悠子, Stanza, Disinformation, Martin Callanan, Augmented Architectures, Sascha Pohflepp, Andreas Schlegel and Vladimir Todorovic, Miguel Andrés-Clavera and Inyong Cho, Mouna Andraos& Sonali Sridhar, 秋吉亮佑,

Laurent Pernot, Esther Harris, Nisha Duggal, Andreas Zingerle, Julian Konczak, Genevieve Staines, Marco Villani, So Young Yang, Zhenchen Liu, Cary Peppermint & Christine Nadir, Naoko Takahashi, Anne-Marie Culhane, Frank Abbott, Lisa Mee, Lori Amor & Kevan Davis

Maria Raponi, Leo Morrissey, Harry Levene & Jon Pigrem

2008年



場所：銀座芸術研究所・ZAIM・9001創造空間

日程：2008年8月30日～9月21日

参加アーティスト、団体など：

Blast Theory, 平川紀道, 前林明次, Drew Hemment, Venzha Christ, Exonemo, Hamilton, Southern, St Amand, 四方幸子, Disinformation, 瀧健太郎, 小磯理沙, Gordon Savicic, Michael Najjar, Tsuda Michiko, Martin Hesselmeier & Karin Lingnau, Terrie Cheung & Brian Kwok, Lushan Liu, Juliana Cerqueira Leite, Dee Hibbert-Jones & Nomi Talisman, Eva Sommeregger, DFUSE, Sarah Cullen, Matthew Ostrowski, Johanna Reich, Matt Green, Florence Girardeau, Robert Willim & Anders Weberg, Son Woo Kyung, 福島陽子, Katarina Radovic, Suzi Tibbetts, Zhenchen Liu, Liora Belford & Ido Govrin, Gonçalo Furtado, Lina Selander, Andreas Zingerle, Sean Capone, Alistair Gentry, Donald Abad, 山岡佐紀子, 丹羽良徳, 渡辺美季, Open City, HFRLab, Nikki Pugh & Ana Benlloch, Adam Sharples, Proboscis, Joshua Rosenstock, 渡辺俊介.

2009年



場所：ギャラリーY・s-gallery2010・小平市中央公園・武蔵野美術大学・その他

参加アーティスト、団体など：

Preeyachanok Ketsuwan, Andreas Siagian, Lim Kok Yoong, Nguyen Duc Tu, Son Woo Kyong, 細川比呂志, 柴田聡子, 貝和由佳子, 小柳淳嗣, 渡辺俊介, Christophe Charles, 菊池びよ, ムラサキ幼稚園, 国分寺国際協会, 玉川上水を守る会, 武蔵野美術大学・



3331 Arts Chiyoda は、たくさんの表現と出会う場所

旧練成中学校を改修して誕生した 3331 Arts Chiyoda は、さまざまなジャンルの第一線で活躍するアーティストやクリエイターたちがそれぞれの表現を自由に発信する場所です。最新のアートから、誰もが身近に感じられるものまで、そのテーマはいろいろ。

1階ギャラリーでは、3331 が注目するアートシーンを、展覧会として公開。また、従来の美術館に感じられた敷居の高さは思い切って取り払い、よりたくさんの人に心地よく過ごしていただけるアートスペースとなるべく、無料でお楽しみいただけるスペースも多く備えています。館内を歩き回り、かつて教室だった スペースに入居したアーティストやクリエイターたちの活動や展示をのぞくことができるのも、3331 ならではの魅力です。

たくさんのイベントや展覧会を行い、さまざまな表現を発信する 3331 は、東京だけでなく、日本各地や東アジアをはじめとする世界中をつなぐ「新しいアートの拠点」となることを目指します。

「3331」の由来

「江戸一本締め」をご存知ですか？江戸一本締めは、おめでたい席で感謝の意を表す風習として、古く江戸時代から受け継がれてきた手締めの文化です。かけ声 の「イヨーオ」は、「祝う・祝おう」が語源といわれ、さらに「シャン・シャン・シャン」と三回打つことが三回で合わせて九(苦)となり、最後に「シャン」と一回打つことで苦を払い、「九」に一画加えて「丸」になるとされています。「3331」のマークは、そのリズムを数字で表したものの、ロゴマークもよく見ると、そのリズムを数字で表したものの、ロゴマークもよく見ると。「三・三・三・一」の文字からできていることに気づきましたか？